

カーボンニュートラルコンビナート研究会（第1回）

議事要旨

○日時

令和3年12月22日（水） 13：30～15：00

○場所

株式会社野村総合研究所大手町グランキューブ大会議室（オンラインとのハイブリッド）

○出席者

平野座長、平野委員、辻委員、重竹委員、奥田委員、進藤委員、志村委員、奥田委員、松井委員

○議事次第

1. 開会
2. 議題
 - （1）検討会の背景と目的
 - （2）カーボンニュートラルに向けた政策の説明
 - （3）自由討議
3. 閉会

○議事概要

研究会の背景と目的について事務局より、カーボンニュートラルに向けた政策について関係省庁より説明後、議論。委員からの主な意見は以下のとおり。

- カーボンニュートラルコンビナートの実現に向けた主な課題は3点。1つ目として、企業が個別に戦略を持って活動している中で、コンビナート全体として、当該戦略との整合性を取ることができるか。2つ目として、マテリアルバランス等の物理的な観点からも、整合性を取ることができるか。3つ目として、企業が投資判断を行えるようなコンビナートの青写真を描き、経済的な政策支援を用意できるか。
- 脱炭素化のみならず、炭素資源循環も含めた検討が必要。
- コンビナートにおけるカーボンニュートラルへの取組については、これまで取り組んできた石油精製・石油化学の連携等と似ている部分があるものの、経済性の考え方が大きく異なる。

- カーボンニュートラルを契機として、コンビナート内の連携が一層進むよう、関係者による議論の場の整備や、連携時に必要となる設備等への税制面やファイナンス面の支援を行う仕組みづくりが必要。
- 関係省庁間で連携を取り、港湾部を含めた地域一帯全体を対象とする支援の枠組みを検討いただきたい。
- “国”、“本社”、“地方・現場”の3主体を意識し、これらの主体をコーディネートする役割が必要。
- 議論を行うにあたっては、カーボンニュートラルコンビナートとして、いつ時点のビジョンを策定するかが重要。